

# 伸・魅力通信

## 「根っこ」育てる保こ幼

4月20日、袋井あやぐも学園の保育園・こども園・幼稚園・小学校・中学校(以下、保こ幼小中)の推進委員が袋井中学校に集まり、拡大推進委員会で話し合いました。会では、保幼小中のつながりをたくさん確認することができました。



## 「学びの根っこ」をつくい育てる保こ幼の遊び

保こ幼では、子供の「やってみたい」「知りたい」「不思議だな」を遊びにつなげています。そして、どうしたらよいのかを考えさせて実際にチャレンジさせています。「失敗して

もいいじゃない？」と声を掛けて、試行錯誤できる雰囲気をつくっています。子供が遊びを諦めてしまったときには、教員がその遊びを続ける姿を見せて、粘り強く取り組もうというメッセージを伝えています。ある子供は、石をピカピカにしたいと思い、4ヶ月間も試行錯誤を繰り返しながら石を磨き続けました。粘り強く、試行錯誤する姿は、新学習指導要領がねらう、粘り強さと自分の学びを調整するという「**主体的に学習に取り組む態度**」につながっています。保こ幼の遊びは「学びの根っこ」をつくり、これが小中の「**授業の土台**」へとつながっています。

## 保こ幼でも「ボイスシャワー」と「聞く指導」

保護者には、「話が聞ける子は、話を聞いてもらっている子」であることを伝えています。子供の聞く様子を見取って、聞きたくなる環境をつくっています。明日の持ち物などを保護者へのお手紙だけではなく、子供にも伝えて、聞かないと困る状況を経験させています。どんなに小さなことでもできないことができるようになったときには、他のクラスの先生や子どもたちも含めてみんなでほめるようにしています。保こ幼でのボイスシャワーと聞く指導で「**静と温の根っこ**」がつけられています。

保こ幼では、みんなで袋井あやぐも学園の「根っこ」をつくり育てています。

※ 袋井あやぐも学園のあゆみは、「デジタル職員室→掲示板→袋井中校区」の中にある「H28 魅力通信」「H29 新・魅力通信」「H30 真・魅力通信」「R1 進・魅力通信」「R2 深・魅力通信」をご覧ください。